



七小見守り隊通信



令和6年度
<No 2>

この取組は「地域学校協働活動」として行っています。

新学期が始まって1カ月が過ぎました。

1年生も元気に登校しています。お兄ちゃんやお姉ちゃんと一緒に、保護者の方と一緒に、子ども会独自の集団登校など様々な登校風景が見られました。このあとは、毎年のことですが、少しずつ、「自分一人で」や「友達と一緒に」になっていきます。

この1カ月、登校見守りをして危険場面は見えていません（自分が立っている場所では）。交通ルールを守らない子もいませんでした。

ただ、この通信を発行して4年目になりますが、毎年同じことで注意を呼びかけています。「事故につながる可能性がある」と危惧するからです。改めて、どのような場面かをお知らせしますので、保護者をはじめ大人のみなさんも確認し、必要があれば声かけをお願いします。

■ 歩道と車道の境目付近や縁石の上を歩く。

・走行する車との距離が近くなることから心配になります。

■ 友達とじゃれ合ったり、追いかけてっしながら歩く。

・いつ車道側に飛び出したり、はみ出したりしないかと心配になります。

■ 反対側の信号機の音に反応して赤信号なのに横断し始める。

・信号待ちの間、おしゃべりに夢中になってる子や、うつむいて信号を見ていない子を見たときには、特に注意して見えています。一度だけ、「赤だよ！」と大声を出したことがありました。

■ 青信号になった瞬間にダッシュする。

・信号は青なので横断していいのですが、信号の変わり目にスピードを上げて通過する車があります。信号が青になってもすぐにダッシュではなく、近づいてくる車がないか確認してから横断することが大事ですね。



「学校地域協働活動」や見守り活動についてのお問い合わせは・・・
七重小学校 ☎65-2029(教頭)
七飯町教育委員会生涯教育課 ☎66-2068(地域学校協働活動担当)

■ 走って横断歩道に突入する。⇒最も危険とを感じる場面です！

・信号は青なので横断していいのですが、走って横断歩道に突入すると、ドライバーから見れば、「急に子どもが現れた」状態になります。運転される方はヒヤッとした経験があるのではないのでしょうか。右左折する車には要注意です。

先日の登校見守りでこんなことがありました。

1年生の女の子グループが楽しそうに横断歩道を渡り始めました。その時、突然強い風が吹き二人の子の帽子が車道に飛ばされました。

私はとっさに、「取りに行かないで！」と叫び、「取ってきてあげるから、まずは渡って」と横断歩道を渡らせました。二人の子は、泣きそうな顔をしていましたが、車の通行が一瞬なくなった時に帽子を拾い上げ、無事二人の子に帽子を渡すことができました。

「取りに行かないで偉かったね。帽子より体の方が大事だもんね。また同じことがあっても、絶対に取りに行かないでね」と話しました。